

琉球大学学術リポジトリ

ルドルフ・シュタイナー全集 第1巻～第180巻 邦訳の現状

メタデータ	言語: ja 出版者: 琉球大学人文社会学部 公開日: 2022-04-07 キーワード (Ja): シュタイナー全集, 邦訳リスト キーワード (En): 作成者: 寺石 悦章 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24564/0002017897

ルドルフ・シュタイナー全集 第1巻～第180巻 邦訳の現状

寺石悦章
Yoshiaki TERAISHI

Ein Überblick über die japanische Übersetzung der Rudolf Steiner Gesamtausgabe 1-180

本稿はルドルフ・シュタイナー (Rudolf Steiner, 1861-1925) の著作・講義等を収録した、およそ 350 巻からなるルドルフ・シュタイナー全集 (Rudolf Steiner Gesamtausgabe) の第1巻～第180巻 (GA1-180) について、邦訳の現状について調査し、その結果を報告するものである。

著名な西洋の思想家であれば、邦訳が全集あるいは著作集といった形で出版されていることが多い。そこでは業績の(ほぼ)全体を視野に収めた翻訳・出版の計画が立てられ、主要な訳語なども統一されている。

しかしシュタイナー関係の邦訳は、このようなこととはほとんど無縁になされており、大半の出版物がそれぞれ単独で出版されている。そのため現在では、およそ 350 巻からなる全集のどの巻とどの巻がすでに翻訳され、どの巻が翻訳されていないのかといったごく基本的な情報すら、把握するのが困難な状況にある。本稿をそのような状況の改善に役立てたいと考えている。

本稿では、筆者が把握した限りでのすべての邦訳について調査を行い、全集から邦訳への対応関係(第何巻のどの文書が、どの本のどの文書で邦訳されているか)を個々に提示する。本稿で報告するのは全集の前半部についてだが、次回は後半部について、その後は本稿とは逆の、邦訳から全集への対応関係について報告することを予定している。

キーワード： シュタイナー シュタイナー全集 邦訳リスト

はじめに

本稿は、ルドルフ・シュタイナー (Rudolf Steiner, 1861-1925) の著作・講義等を収録した、およそ 350 巻からなるルドルフ・シュタイナー全集 (Rudolf Steiner Gesamtausgabe, 以下「全集」) について、その邦訳の現状について調査し、その結果を報告するものである。報告は 2 回に分け、まず本稿では第 1 巻～第 180 巻について報告を行う。なおルドルフ・シュタイナーという人物、全集の全体像 (構成など)、および邦訳の現状把握をめぐる困難な状況などに関しては、すでに論じているのでここでは繰り返さない¹。

筆者は以前からこのような調査を進めているが、邦訳に関する情報を網羅的に収集することとどまり、全集と邦訳との具体的な対応関係を示すまでには至っていなかった。本稿では、筆者が把握した限りでのすべての邦訳について全集との対応関係を調査し、全集の第何巻のどの文書が、どの本のどの文書で邦訳されているかを個々に提示する²。

これまで一部の全集と邦訳について、対応関係 (本と本の対応) が示されたことはあったが、それが網羅的な形で示されることはなかった。ましてや本に収録された個々の文書にまで言及されることはなかった。本稿を手がかりに、今後の邦訳および研究がさらに進展することが期待される³。

邦訳リストについて

全集は現在も編集が継続されている。これまでに全面的な改訂がなされた

¹ 寺石悦章 2021 「ルドルフ・シュタイナー全集 邦訳の現状」(『人間科学』第 41 号所収、pp.61-91)。なお人智学出版社のシュタイナー著作全集に関して、「このような巻数の表記は、筆者が知る限り、このシリーズ以外ではまったく行われていない」(p.67, 「巻数の表記」は全集の第何巻という表記のこと) と記した点については訂正したい。佐藤俊夫による邦訳(『霊学に基づく生理学と治療学』、『医療を深めるための瞑想的考察と指導』、『牧会医学講座 医師と牧会者の共働』、『アントロポゾフィーの人間認識と医学』、いずれもルネッサンス・アイ) にも、全集の巻数が明示されている。

² 短い文章が多数収録されているなど、あまりに煩雑になる場合には表記を省略している場合がある。

³ 本稿で示しているのは「全集→邦訳」の対応関係である。次に予定する全集の後半部についての報告に続き、「邦訳→全集」の対応関係についても報告することを予定している。

結果、すでに邦訳と対応しなくなっている巻もある。ただし本稿は邦訳との対応を示すことを目的としているため、そのような場合には改訂前の巻を示す。

筆者が把握しているすべての邦訳を対象としているが、本または収録されている文書の全体が多数の講義等からの抜粋により構成され、かつ抜粋された各文章の量が比較的短いものは対象外としている⁴。また通常の書籍と重複する Kindle 版も対象外としている。（ただし Kindle 版としてのみ出版されたものは対象としている。）一方、厳密には全集からの邦訳ではない場合でも、対応関係が明確な場合（全集以外の出版物からの邦訳、英訳からの邦訳など）は対象としている。

全集各巻の表記方法や各項目を表記する順序はかならずしも統一されていないが、原則として各巻の表記に従う。ただし大文字が連続するものは、適宜小文字に改める。

本稿で取り上げる著書・論文・講義等は、ごくわずかな例外を除いてルドルフ・シュタイナーによるものである。したがって著者名は原則として省略し、訳者名のみをあげる。

ドイツ語の場合、講義ごとの個別タイトル（具体的内容を示すもの）を“ ”で示している。ただし連続講義全体のタイトルや、①（後述）等の部分は“ ”には含まない。

日本語の場合、本全体を『 』で、収録されている文書を「 」で示してい

⁴ 対象外とした書名は次の通り（発行年順）。西川隆範訳『仏陀からキリストへ』水声社、1985；西川隆範編訳『シュタイナー教育小事典』イザラ書房、1992；西川隆範訳『シュタイナー仏教論集』アルテ、2002；西川隆範編訳『シュタイナー教育ハンドブック』風濤社、2007；西川隆範訳『ペーシック・シュタイナー 人智学エッセンス』イザラ書房、2007；西川隆範編訳『シュタイナー 輪廻転生譚』風濤社、2009；西川隆範訳『シュタイナー キリスト論集』アルテ、2010；西川隆範訳『シュタイナーはこう語った』アルテ、2011；高橋巖訳『シュタイナーの言葉』春秋社、2014。

また対象外とした収録文書は次の通り（発行年順）。西川隆範訳『色と形と音の瞑想』風濤社、2001 所収の「肉色・肌色」「ゲートの色彩論」「虹の色」「色と形の瞑想・オーラの色」「補遺」；西川隆範訳『神仏と人間』風濤社、2010 所収の「仏陀から弥勒へ」；『シュタイナー〈からだの不思議〉を語る』イザラ書房、2010 所収の「補遺 3 物質体・エーテル体・アストラル体」；西川隆範訳『天地の未来』風濤社、2011 所収の「地震の深層」。

る。ウェブサイトに掲載されている翻訳の場合、全訳(それに近いものを含む)の場合に『 』、個々の講義や章の場合に「 」を用いる。

ウェブサイトに掲載されている翻訳、および Kindle 版の場合、発行年は記載しない。

行頭の○印は巻の全訳(を含むもの)、行頭の・印は2冊合わせての巻の全訳である。

水声社の社名は1992年までは書肆風の薔薇だが、本稿では水声社で統一する。

シュタイナー研究室(本稿では「〈S〉研究室」、後述)はウェブサイトである。

(<https://r5.quicca.com/~steiner/novalisnova/steiner/Steiner.html>)

掲載等の都合により、下記の方法で文章の分量を減らしている。

「ルドルフ・シュタイナー」は〈RS〉、「シュタイナー」は〈S〉と略記する。

erster Vortrag (第一講)、zweiter Vortrag (第二講) ……は①、②……と表記する⁵。ただしローマ数字による表記(I, II……)はそのままとする。

ある文書Aの一部が、それに続く文書B, Cの一部と同一の場合、同一の部分をAでは下線、B, Cでは……で示すことがある。文書Aの一部が2つ後の文書B(さらにその2つ後の文書C)の一部と同一の場合、同一の部分をAでは下線、B, Cでは…②…で示すことがある。(状況に応じて二重下線を用いて識別を容易にする。)

収録されている文書・講義名は、特定・識別が可能な範囲でできるだけ簡潔に表示する。講義の番号(たとえば erster Vortrag, 本稿では①)のみで講義が特定できる場合は、内容を示すタイトルは示さない⁶。また長いタイトルは一部を省略することがある。原則としてサブタイトルは省略する。

⁵ Vortrag のみの場合も①と表記する。

⁶ ただし複数の連続講義が収録されていて、erster Vortrag (第一講) が2つあるような場合には、それらを識別できるような形で表記する。

次の雑誌は略号(あるいは一部省略)で表記する。

『現代神秘学1』:『現代神秘学』第1号、人智学研究会、1976

(第2号以下も同様……第2号、1976;第3号、1977;第4号、1978)

『人智学研究1』:『人智学研究』第1号、人智学出版社、1980

(第2号以下も同様……第2号、1981;第3号、1982)

『〈RS〉研究1』:『ルドルフ・シュタイナー研究』第1号、

ルドルフ・シュタイナー研究所、1978

(第2号以下も同様……第2号、1978;第3号、1979、第4号、1979)

GA1, Einleitungen zu Goethes Naturwissenschaftlichen Schriften

○佐々木義之訳『ゲーテの自然科学論序説』〈S〉研究室

I～III

小泉進訳「「ゲーテ自然科学論集」解説1」(『人智学研究1』)

IV

小泉進訳「「ゲーテ自然科学論集」解説2」(『人智学研究2』)

V～IX

小泉進訳「「ゲーテ自然科学論集」解説3」(『人智学研究3』)

GA2, Grundlinien einer Erkenntnistheorie der Goetheschen Weltanschauung

○浅田豊訳『ゲーテ的世界観の認識論要綱』筑摩書房、1991

○森章吾訳『ゲーテ的世界観の認識論要綱』イザラ書房、2016

GA3, Wahrheit und Wissenschaft

○一叶知秋訳『真理と学問』〈S〉研究室

GA4, Die Philosophie der Freiheit

- 本間英世訳『自由の哲学』人智学出版社、1981
- 高橋巖訳『自由の哲学』ちくま学芸文庫、2002
- 鈴木一博『自由を考える』榛書房、2016
- 森章吾『自由の哲学』イザラ書房、2017

GA5, Friedrich Nietzsche, ein Kämpfer gegen seine Zeit

- 樋口純明訳『ニーチェ——同時代との闘争者』人智学出版社、1981
- 西川隆範訳『ニーチェ——同時代への闘争者』アルテ、2008
- 高橋巖訳『ニーチェ みずからの時代と闘う者』岩波文庫、2016

GA6, Goethes Weltanschauung

- 溝井高志『ゲーテの世界観』晃洋書房、1995
- “Gedanken über Entwicklungsgeschichte der Erde”
- 高橋巖訳「岩塊の中の理念」
- (『血はまったく特製のジュースだ』イザラ書房、1983)

GA7, Die Mystik im Aufgange des neuzeitlichen Geisteslebens

und ihr Verhältnis zur modernen Weltanschauung

- 西川隆範訳『神秘主義と現代の世界観』書肆風の薔薇、1989
- “Einführung”
- 深澤英隆訳「近代黎明期の神秘主義 I」(『〈RS〉研究 3』)
- “Meister Eckhart”
- 深澤英隆訳「近代黎明期の神秘主義 II」(『〈RS〉研究 4』)

GA8, Das Christentum als mystische Tatsache

und die Mysterien des Altertums

○石井良訳『神秘的事実としてのキリスト教と古代密儀』人智学出版社、1981

○西川隆範訳『神秘的事実としてのキリスト教と古代の密儀』アルテ、2003

“Die griechischen Weisen vor Plato im Lichte der Mysterienweisheit”

西川隆範訳「ギリシア哲学⁷」(『〈S〉哲学講義』アルテ、2010)

“Plato als Mystiker”

西川隆範訳「ギリシア哲学⁸」(『〈S〉哲学講義』アルテ、2010)

GA9, Theosophie

○高橋巖訳『神智学』イザラ書房、1977

○鈴木一博訳『テオゾフィー』〈RS〉ハウス、1998

○高橋巖訳『神智学』ちくま学芸文庫、2000

○松浦賢訳『テオゾフィー 神智学』柏書房、2000

○森章吾訳『テオゾフィー』Kindle

“Das Wesen des Menschen”

南方健訳「神智学」(『現代神秘学 1』)

“Wiederverkörperung des Geistes und Schicksal”

東原一夫訳「神智学」(『現代神秘学 2』)

“Die drei Welten”

東原一夫訳「神智学」(『現代神秘学 3』)

東原一夫訳「神智学IV」(『現代神秘学 4』)

GA10, Wie erlangt man Erkenntnisse der höheren Welten?

○高橋巖訳『いかにして超感覚的世界の認識を獲得するか』

ちくま学芸文庫、2001

○松浦賢訳『いかにして高次の世界を認識するか』柏書房、2001

⁷ 部分訳。

⁸ 部分訳。

○鈴木一博訳『いかにして人が高い世を知るにいたるか』榛書房、2008

GA11, *Aus der Akasha-Chronik*

○深澤英隆・徳永靖之訳『アーカーシャ年代記より』人智学研究会、1976

○深澤英隆訳『アーカーシャ年代記より 改訳新版』人智学研究会、1978

○高橋巖訳『アカシャ年代記より』国書刊行会、1981

○深澤英隆訳『アーカーシャ年代記より』人智学出版社、1982

○高橋巖訳『アカシャ年代記より』国書刊行会、1984

GA12, *Die Stufen der höheren Erkenntnis*

○西川隆範訳「靈的認識の諸階梯」(『靈界の境界』水声社、1986)

GA13, *Die Geheimwissenschaft im Umriß*

○石井良・樋口純明訳『神秘学概論』人智学出版社、1982

○西川隆範訳『神秘学概論』イザラ書房、1992

○高橋巖訳『神秘学概論』ちくま学芸文庫、1998

○藤本佳志訳『神秘学概論』本の研究社、2017

○森章吾訳『神秘学概論』Kindle

GA14, *Vier Mysteriendramen*⁹

“Die Pforte der Einweihung”

新田義之訳『神秘劇』人智学出版社、1982

新田義之訳「神秘劇 第1部 認識の関門¹⁰」(『(RS) 研究 1』)

新田義之訳「神秘劇 第1部 認識の関門¹¹」(『(RS) 研究 2』)

⁹ 公刊されていないが、第3劇・第4劇については香川裕子訳(試訳)がある。

¹⁰ 部分訳。

¹¹ 部分訳。

新田義之訳「神秘劇 第1部 認識の関門¹²」(『〈RS〉研究3』)

新田義之訳「神秘劇 第1部 認識の関門¹³」(『〈RS〉研究4』)

“Die Prüfung der Seele”

新田義之訳『神秘劇』人智学出版社、1982

GA15, Die geistige Führung des Menschen und der Menschheit

○浅田豊訳『個人と人類を導く霊の働き』松村書館、1984

○浅田豊訳『個人と人類を導く霊のはたらき』涼風書林、2010

GA16, Ein Weg zur Selbsterkenntnis des Menschen

○佐藤俊夫訳『自己認識への道』人智学出版社、1981

○高橋巖訳「人間の自己認識へのひとつの道」

(『シュタイナーの瞑想・修行論』春秋社、2019)

GA17, Die Schwelle der geistigen Welt

○西川隆範訳「霊界の境域」(『霊界の境域』水声社、1986)

○高橋巖訳「霊界の境域」(『シュタイナーの瞑想・修行論』春秋社、2019)

○佐々木義之訳『霊的世界の入口』〈S〉研究室

GA18, Die Rätsel der Philosophie

○山田明紀訳『哲学の謎』水声社、2004

GA21, Von Seelenrätseln

“Anthropologie und Anthroposophie”

深澤英隆・新納宏訳「人間学と人智学——魂の謎 I」(『現代神秘学3』)

¹² 部分訳。

¹³ 部分訳。

高橋巖訳「人間学と人智学」(『魂について』春秋社、2011)

“Franz Brentano (ein Nachruf)”

中村雅樹訳「フランツ・ブレンターノ—追悼の辞—」(『人智学研究 2』)

**GA22, Goethes Geistesart in ihrer Offenbarung durch seinen Faust
und durch das Märchen “Von der Schlange und der Lilie”**

“Goethes Geistesart in ihrer Offenbarung”

井藤元訳「R. 〈S〉『ファウスト』によって開示された

ゲーテの精神様式」(『大阪成蹊大学紀要教育学部篇 1』2014)

“Goethes Geistesart in ihrer Offenbarung

durch sein «Märchen von der grünen Schlange und der Lilie»”

坪正男訳「メルヒェン「緑の蛇と百合姫のメルヒェン」に開示された

ゲーテの精神」(『〈RS〉研究 2』)

坪正男訳「……」(『メルヒェン「緑の蛇と百合姫のメルヒェン」に開示

されたゲーテの精神』、人智学出版社、1983)

高橋弘子訳「緑の蛇と百合姫のメルヘンにみられるゲーテの精神様式」

(『メルヘン論』水声社、1990)

GA23, Die Kernpunkte der Sozialen Frage

in den Lebensnotwendigkeiten der Gegenwart und Zukunft

○廣嶋準訓訳『社会問題の核心』人智学出版社、1981

○高橋巖訳『現代と未来を生きるのに必要な社会問題の核心』

イザラ書房、1991

○高橋巖訳『社会問題の核心』春秋社、2010

“Der Aufruf «An das deutsche Volk und an die Kulturwelt»”

新田義之訳「ドイツ国民とその文化界に告ぐ」(『〈RS〉研究 3』)

新田義之訳「……」(『精神科学と社会問題』人智学出版社、1986)

新田義之訳「……」(『精神科学と社会問題』みくに出版、2010)

高橋巖訳「ドイツ民族とその文化世界に訴える」

(『社会の未来』イザラ書房、1989)

高橋巖訳「……」(『社会の未来』春秋社、2009)

GA24, Aufsätze über die Dreigliederung des sozialen Organismus

“Vorbemerkungen”

新田義之訳「社会機構の三層化——時代の必然」(『〈RS〉研究 3』)

新田義之訳「……」(『精神科学と社会問題』人智学出版社、1986)

新田義之訳「……」(『精神科学と社会問題』みくに出版、2010)

高橋巖訳「はじめに——社会有機体三分節化をめぐる」

(『現代と未来を生きるのに必要な社会問題の核心』イザラ書房、1991)

高橋巖訳「……」(『社会問題の核心』春秋社、2010)

“Internationale Lebensnotwendigkeiten und soziale Dreigliederung”

新田義之訳「国際的観点における生の必要条件と社会構造の三層化」

(『〈RS〉研究 3』)

新田義之訳「……」(『精神科学と社会問題』人智学出版社、1986)

新田義之訳「……」(『精神科学と社会問題』みくに出版、2010)

高橋巖訳「国際生活の必要性和社会の三分節化」

(『現代と未来を生きるのに必要な社会問題の核心』イザラ書房、1991)

高橋巖訳「……」(『社会問題の核心』春秋社、2010)

“Marxismus und Dreigliederung”

新田義之訳「マルキシズムと三層構造」(『〈RS〉研究 3』)

新田義之訳「……」(『精神科学と社会問題』人智学出版社、1986)

新田義之訳「……」(『精神科学と社会問題』みくに出版、2010)

高橋巖訳「マルクス主義と三分節化」

(『現代と未来を生きるのに必要な社会問題の核心』イザラ書房、1991)

高橋巖訳「マルクス主義と三分節化」(『社会問題の核心』春秋社、2010)

“Freie Schule und Dreigliederung”

新田義之訳「自由学校と社会三層構造」(『RS』研究3』)

新田義之訳「……」(『精神科学と社会問題』人智学出版社、1986)

新田義之訳「……」(『精神科学と社会問題』みくに出版、2010)

高橋巖訳「自由な学校と三分節化」

(『現代と未来を生きるのに必要な社会問題の核心』イザラ書房、1991)

高橋巖訳「自由な学校と三分節化」(『社会問題の核心』春秋社、2010)

“Was nottut”

高橋巖訳「われわれが必要としているもの」

(『現代と未来を生きるのに必要な社会問題の核心』イザラ書房、1991)

高橋巖訳「……」(『社会問題の核心』春秋社、2010)

“Die pädagogische Grundlage der Waldorfschule”

渡辺宣江訳「ヴァルドルフ学校の教育学的根底」(『RS』研究4』)

渡辺宣江訳「……」(『教育と芸術』人智学出版社、1986)

“Ideenabwege und Publizistenmoral”

高橋巖訳「思想の迷路とジャーナリストのモラル」

(『現代と未来を生きるのに必要な社会問題の核心』イザラ書房、1991)

高橋巖訳「……」(『社会問題の核心』春秋社、2010)

“Zerstörung und Aufbau”

高橋巖訳「破壊の再建」

(『現代と未来を生きるのに必要な社会問題の核心』イザラ書房、1991)

高橋巖訳「破壊の再建」(『社会問題の核心』春秋社、2010)

“Die pädagogische Zielsetzung der Waldorfschule in Stuttgart”

渡辺宣江訳「シュトゥットガルトのヴァルドルフ教育学校の教育学的目標」

(『RS』研究4』)

渡辺宣江訳「……」(『教育と芸術』人智学出版社、1986)

GA25, *Drei Schritte der Anthroposophie*

Philosophie, Kosmologie, Religion.

○西川隆範訳「宇宙論・宗教・哲学」(『靈界の境域』水声社、1992)

GA26, *Anthroposophische Leitsätze*

“Leitsätze, Nr.1-78”

入間カイ訳「アントロポゾフィー指導原理」

(『〈S〉が協会と自由大学に託したこと』水声社、2014)

“Leitsätze, Nr.1-185”

西川隆範訳「人智学指導原則¹⁴」(『人智学指導原則』水声社、1992)

“Im Anbruch des Michale-seitalters”

高橋巖訳「新しいミカエル時代のはじまり」(『悪について』春秋社、2012)

“Das menschliche Seelenverfassung vor dem Anbruch des Michael-zeitalters”

高橋巖訳「ミカエル時代以前の人間の魂」(『悪について』春秋社、2012)

“Der Vor-michaleische und der Michales-weg”

高橋巖訳「以前の道とミカエルの道」(『悪について』春秋社、2012)

“Michales Aufgabe in der Ahriman-Sphäre”

高橋巖訳「アーリマン領界におけるミカエルの課題」(……)

“Michales Ehfahrungen und Erlebnisse

während der Erfüllung seiner kosmischen Mission”

高橋巖訳「ミカエルが宇宙使命を成就するとき」(……)

“Das Michael-Christus-Erlebnis des Menschen”

高橋巖訳「ミカエル＝キリストを体験する」(『悪について』春秋社、2012)

“Michales Mission im Weltenalter der Menschen-Freiheit”

高橋巖訳「自由とキリスト衝動」(『悪について』春秋社、2012)

¹⁴ 狭義の Leitsätze の部分のみ。

“Die Weltgedanken im wirken Michales und im wirken Ahrimans”

高橋巖訳「ミカエルと愛」(『悪について』春秋社、2012)

“Was ist die erde in Wirklichkeit im Makrokosmos?”

高橋巖訳「大宇宙のための地球と人間の役割」(……)

“Die Freiheit des Menschen und das Michale-zeitalter”

高橋巖訳「記憶力と自由」(『悪について』春秋社、2012)

“Der Mensch in seiner makrokosmischen Wesenheit”

高橋巖訳「人間と宇宙の共属性」(『悪について』春秋社、2012)

“Von der Natur zur Unter-Natur”

高橋巖訳「自然から自然以下へ」(『悪について』春秋社、2012)

**GA27, Grundlegendes für eine Erweiterung der Heilkunst
nach geisteswissenschaftlichen Erkenntnissen**

○浅田豊訳『アントロポゾフィー医学の本質』水声社、2013

GA28, Mein Lebensgang

- ・伊藤勉・中村康二訳『〈S〉自伝Ⅰ』人智学出版社、1982
- ・伊藤勉・中村康二訳『〈S〉自伝Ⅱ』人智学出版社、1982
- ・伊藤勉・中村康二訳『〈S〉自伝Ⅰ』ぱる出版、2001
- ・伊藤勉・中村康二訳『〈S〉自伝Ⅱ』ぱる出版、2001
- ・西川隆範訳『〈S〉自伝(上)』アルテ、2008
- ・西川隆範訳『〈S〉自伝(下)』アルテ、2008

GA31, Gesammelte Aufsätze zur Kultur- und Zeitgeschichte 1887-1901

“Emile Zola an die Jugend”

西川隆範訳「ゾラ」(『〈S〉文学講義』アルテ、2011)

“Die soziale Frage”

中村康二訳「社会問題」(『精神科学と社会問題』人智学出版社、1986)

中村康二訳「社会問題」(『精神科学と社会問題』みくに出版、2010)

“Freiheit und Gesellschaft”

中村康二訳「自由と社会」(『精神科学と社会問題』人智学出版社、1986)

中村康二訳「自由と社会」(『精神科学と社会問題』みくに出版、2010)

GA32, *Gesammelte Aufsätze zur Literatur 1884-1902*

“Balzac. Zu dessen hundertstem Geburtstag”

西川隆範訳「バルザック」(『〈S〉文学講義』アルテ、2011)

“Maeterlinck, der《freie Geist》“

西川隆範訳「メーテルリンク」(『〈S〉文学講義』アルテ、2011)

GA33, *Biographien und biographische Skizzen 1894-1905*

“Literatur und das geistige Leben im XIX””

西川隆範訳「近代文学史(抄)¹⁵」(『〈S〉文学講義』アルテ、2011)

GA34, *Lucifer-Gnosis*

“Reinkarnation und Karma, vom Standpunkte

der modernen Naturwissenschaft notwendige Vorstellungen”

新田義之訳「靈魂の再受肉とカルマ」(『〈RS〉研究1』)

新田義之訳「……」(『いかにカルマは作用するか』人智学出版社、1986)

新田義之訳「……」(『いかにカルマは作用するか』みくに出版、2009)

“Wie Karma wirkt”

新田義之訳「いかにカルマは作用するか」(『〈RS〉研究2』)

新田義之訳「……」(『いかにカルマは作用するか』人智学出版社、1986)

¹⁵ 抄訳。

新田義之訳「……」(『いかにカルマは作用するか』みくに出版、2009)

“Aristoteles über das Mysteriendrama”

西川隆範訳「ギリシア悲劇」(『〈S〉文学講義』アルテ、2011)

“Geisteswissenschaft und soziale Frage”

伊藤勉訳「精神科学と社会問題」

(『精神科学と社会問題』人智学出版社、1986)

伊藤勉訳「……」(『精神科学と社会問題』みくに出版、2010)

“Die Erziehung des Kindes vom Gesichtspunkte der Geisteswissenschaft”

大西そよ子訳「精神科学の立場から見た子供の教育」(『〈RS〉研究 2』)

大西そよ子訳『精神科学の立場から見た子供の教育』人智学出版社、1980

大西そよ子訳『精神科学の立場から見た子供の教育』みくに出版、2009

松浦賢訳「霊学の観点からの子どもの教育 論文版」

(『霊学の観点からの子どもの教育』イザラ書房、1999)

高橋巖訳「……」(『子どもの教育』筑摩書房、2003)

GA35, Philosophie und Anthroposophie

“Theosophie in Deutschland vor hundert Jahren”

高橋巖訳「百年前のドイツ神智学」

(『血はまったく特製のジュースだ』イザラ書房、1983)

“Kuziferisches und Ahrimanisches in ihrem Verhältnis”

高橋巖訳「ルツィフェルとアーマン 2」(『悪について』春秋社、2012)

GA36, Der Goetheanumgedanke inmitten der Kulturkrise der Gegenwart

“Die Weltfrage”

高橋巖訳「世界問題」(『社会の未来』イザラ書房、1989)

“Das Vergessen des Geisteslebens in den Weltfragen”

高橋巖訳「世界問題における精神生活の忘却」〔……〕

“Ist Anthroposophie Phantastik?”

味形修訳「人智学は幻想的なものか」(『〈RS〉研究4』)

味形修訳「……」(『人智学・神秘主義・仏教』人智学出版社、1986)

味形修訳「……」(『人智学・神秘主義・仏教』みくに出版、2009)

“Anthroposophie und Idealismus”

味形修訳「人智学と観念論」(『〈RS〉研究4』)

味形修訳「……」(『人智学・神秘主義・仏教』人智学出版社、1986)

味形修訳「……」(『人智学・神秘主義・仏教』みくに出版、2009)

“Anthroposophie und Mystik”

味形修訳「人智学と神秘主義」(『〈RS〉研究4』)

味形修訳「……」(『人智学・神秘主義・仏教』人智学出版社、1986)

味形修訳「……」(『人智学・神秘主義・仏教』みくに出版、2009)

“Anthroposophie, Erziehung, Schule”

渡辺宣江訳「人智学、教育、学校」(『〈RS〉研究3』)

渡辺宣江訳「人智学、教育、学校」(『教育と芸術』人智学出版社、1986)

“Ein Vortrag über Pädagogik während des französischen Kurses am Goetheanum”

渡辺宣江訳「教育学についてのある講演の概要」(『〈RS〉研究3』)

渡辺宣江訳「……」(『教育と芸術』人智学出版社、1986)

“Pädagogik und Kunst”

渡辺宣江訳「教育と芸術」(『〈RS〉研究3』)

渡辺宣江訳「教育と芸術」(『教育と芸術』人智学出版社、1986)

“Pädagogik und Moral”

渡辺宣江訳「教育と道徳」(『〈RS〉研究3』)

渡辺宣江訳「教育と道徳」(『教育と芸術』人智学出版社、1986)

Vom Seelenleben, “I. Das Seelenwesen im Dämmerdunkel des Traumes”

高橋巖訳「夢の薄闇の中での魂の本性」(『魂について』春秋社、2011)

…., “II Das Seelenwesen in der Helligkeit der Geist-Anschauung”

高橋巖訳「霊的直観の光の中での魂の本性」(『魂について』春秋社、2011)

…., “III. Das Seelenwesen auf dem Wege zur Selbstbeobachtung”

高橋巖訳「自己観察の道を歩む魂の本性」(『魂について』春秋社、2011)

…., “IV. Das Seelenwesen in Seelenmut und Seelenangst”

高橋巖訳「魂の勇氣と不安の中の魂の本性」(『魂について』春秋社、2011)

GA38, Briefe Band I: 1881-1890

高橋巖『若き〈S〉とその時代¹⁶』平河出版社、1986

GA39, Briefe Band II: 1890-1925

高橋巖『若き〈S〉とその時代¹⁷』平河出版社、1986

GA40, Wahrspruchworte¹⁸

西川隆範訳『祈りと瞑想の言葉¹⁹』イザラ書房、1993

“Anthroposophischer Seelenkalender”

高橋巖訳『〈RS〉による魂のこよみ』筑摩書房、1985

秦理恵子訳『魂のこよみ』イザラ書房、1993

高橋巖訳『魂のこよみ』ちくま文庫、2004

鳥山雅代訳『「魂のこよみ」とともに』水声社、2006

GA45, Anthroposophie

Vorbemerkung des Herausgebers, I ~ III

¹⁶ 一部の翻訳を含む。対応関係については省略。

¹⁷ 一部の翻訳を含む。対応関係については省略。

¹⁸ 部分的な翻訳は下記以外にも多数あると見られる。

¹⁹ 一部の翻訳を含む。対応関係については省略。

落合亮一訳「人智学1」(『人智学研究1』)

GA52, Spirituelle Seelenlehre und Weltbetrachtung

II, Berlin, 1903.10.3

西川隆範訳「心の起源」(『こころの不思議』風濤社、2004)

高橋巖訳「魂の起源」(『魂について』春秋社、2011)

VIII, Berlin, 1904.3.16

西川隆範訳「神智学と心理学」(『〈S〉心理学講義』平河出版社、1995)

高橋巖訳「魂と体の関係」(『魂について』春秋社、2011)

IX, Berlin, 1904.3.23

高橋巖訳「人間の魂の本質」(『魂について』春秋社、2011)

X, Berlin, 1904.3.30

西川隆範訳「心と精神」(『こころの不思議』風濤社、2004)

高橋巖訳「魂から霊へ」(『魂について』春秋社、2011)

GA53, Ursprung und Ziel des Menschen

I, Berlin, ⑤, 1904.11.3

西川隆範訳「トルストイ」(『〈S〉文学講義』アルテ、2011)

I, Berlin, ⑥, 1904.11.10

西川隆範訳「心の世界の段階」(『こころの不思議』風濤社、2004)

西川隆範訳「心魂の世界」(『天国と地獄』風濤社、2011)

I, Berlin, ⑦, 1904.11.17

西川隆範訳「精神の国」(『天国と地獄』風濤社、2011)

I, Berlin, ⑬, 1905.3.23

西川隆範訳「イプセン」(『〈S〉文学講義』アルテ、2011)

II, Berlin, ②, 1905.2.16

西川隆範訳「ゲーテの秘密の啓示——緑蛇と百合姫のメルヘン(1)」

(『ゲーテ 精神世界の先駆者』アルテ、2009)

II, Berlin, ③, 1905.2.23

西川隆範訳「……緑蛇と百合姫のメルヘン(2)」(……)

II, Berlin, ④, 1905.3.2

西川隆範訳「……「新メルジエネ」と「新パリス」」(……)

II, Berlin, ⑤, 1905.5.4

西川隆範訳「シラー」(『〈S〉文学講義』アルテ、2011)

GA54, Die Welträtsel und die Anthroposophie

IV, Hamburg, 1908.3.2 (statt Berlin, 1905.10.26)

西川隆範訳「社会を考える(1)」

(『あたまを育てるからだを育てる』風濤社、2002)

西川隆範訳「精神科学と社会問題」(『社会改革案』水声社、2011)

IX, Berlin, 1905.12.7

西川隆範訳「内的進化」(『霊視と霊聴』水声社、1993)

GA55, Die Erkenntnis des Übersinnlichen in unserer Zeit und deren Bedeutung für das heutige Leben

II, Berlin, 1906.10.25

高橋巖訳「血はまったく特製のジュースだ」

(『血はまったく特製のジュースだ』イザラ書房、1983)

V, Berlin, 1906.12.13

西川隆範訳「病気とは何か 死とは何か」

(『〈S〉〈からだの不思議〉を語る』イザラ書房、2010)

VI, Köln, 1906.12.1 (statt Berlin, 1907.1.10)

西川隆範訳「精神科学の立場からの子どもの教育」

(『〈S〉教育の基本要素』イザラ書房、1994)

松浦賢訳「霊学の観点からの子どもの教育 講演版」

(『霊学の観点からの子どもの教育』イザラ書房、1999)

西川隆範訳「…②…」(『教育の方法』アルテ、2004)

VII, Berlin, 1907.1.24

西川隆範訳「精神科学の観点からの学校問題」

(『あたまを育てるからだを育てる』風濤社、2002)

IX, Berlin, 1907.2.14

西川隆範訳「知恵と健康」(『人間の四つの気質』風濤社、2000)

X, Berlin, 1907.2.28

西川隆範訳「人生設計(1)」(『人間の四つの気質』風濤社、2000)

XII, Berlin, 1907.3.28

西川隆範訳「ワグナー」(『〈S〉文学講義』アルテ、2011)

GA56, Die Erkenntnis der Seele und des Geistes

VII, Berlin, 1908.1.9

西川隆範訳「親と子」(『〈S〉教育の基本要素』イザラ書房、1994)

IX, München, 1907.12.3 (statt Berlin, 1908.2.13)

西川隆範訳「精神科学の光に照らした病気妄想」

(『身体と心が求める栄養学』風濤社、2005)

X, München, 1907.12.5 (statt Berlin, 1908.2.27)

西川隆範訳「精神科学の光に照らした健康熱」(…)

XII, Berlin, 1908.3.26

西川隆範訳「太陽・月・星」(『人体と宇宙のリズム』風濤社、2003)

XIV, Berlin, 1908.4.16

西川隆範訳「地獄」(『天国と地獄』風濤社、2011)

XV, Berlin, 1908.5.14

西川隆範訳「天国」(『天国と地獄』風濤社、2011)

GA57, *Wo und wie findet man den Geist?*

VII, Berlin, 1908.12.17

西川隆範訳「肉食と菜食」(『健康と食事』イザラ書房、1992)

西川隆範訳「精神科学の光に照らした栄養問題」

(『身体と心が求める栄養学』風濤社、2005』)

VIII, Berlin, 1909.1.14

西川隆範訳「精神科学の光に照らした健康問題」(……)

XI, Berlin, 1909.2.18

西川隆範訳「心魂と身体」

(『〈S〉からだの不思議』を語る』イザラ書房、2010)

XII, Berlin, 1909.3.4

西川隆範訳「人間の四つの気質」(『人間の四つの気質』風濤社、2000)

XIII, Berlin, 1909.3.11

西川隆範訳「ファウストの謎——顕教的」

(『ゲーテ 精神世界の先駆者』アルテ、2009)

XIV, Berlin, 1909.3.12

西川隆範訳「ファウストの謎——秘教的」(……)

XV, Berlin, 1909.3.20

西川隆範訳「ニーチェ²⁰」(『〈S〉哲学講義』アルテ、2010)

GA58, *Metamorphosen des Seelenlebens (I)*

IX, Berlin, 1909.12.9

西川隆範訳「月のリズム」(『人体と宇宙のリズム』風濤社、2003)

高橋巖訳「月についての考察」(『魂について』春秋社、2011)

²⁰ 抄訳。

GA59, *Metamorphosen des Seelenlebens* (2)

○佐々木義之訳『魂生活の変容——経験の道』(〈S〉研究室)

XI, Berlin, 1910.2.3

高橋巖訳「笑うことと泣くこと」(『魂について』春秋社、2011)

XII, Berlin, 1910.2.10

西川隆範訳「神秘主義」(『〈S〉哲学講義』アルテ、2010)

XIV, Berlin, 1910.3.3

西川隆範訳「病気と治療」(『病気と治療』イザラ書房、1992)

XV, Berlin, 1910.3.10

高橋巖訳「積極的な人と消極的な人」(『魂について』春秋社、2011)

XVII, Berlin, 1910.5.12

西川隆範訳「ホメロスとアイスキュロス²¹」

(『〈S〉文学講義』アルテ、2011)

西川隆範訳「ダンテ・シェークスピア・ゲーテ²²」(……)

**GA60, *Antworten der Geisteswissenschaft
auf die grossen Fragen des Daseins***

VIII, Berlin, 1911.1.12

西川隆範訳「素質・才能・教育」

(『〈S〉教育の基本要素』イザラ書房、1994)

XIII, Berlin, 1911.3.2

新田義之訳「仏陀」(『〈RS〉研究3』)

新田義之訳「仏陀」(『人智学・神秘主義・仏教』人智学出版社、1986)

新田義之訳「仏陀」(『人智学・神秘主義・仏教』みくに出版、2009)

²¹ 部分訳。「ダンテ・シェークスピア・ゲーテ」と合わせて全体になる。

²² 部分訳。「ホメロスとアイスキュロス」と合わせて全体になる。

GA61, *Menschengeschichte im Lichte der Geistesforschung*

V, Berlin, 1911.11.23

西川隆範訳「心のいとなみの隠れた深み」

(『こころの不思議』風濤社、2004)

VI, Berlin, 1911.12.7

高橋巖訳「幸と不幸」(『魂について』春秋社、2011)

X, Berlin, 1912.1.25

高橋巖訳「キリストと20世紀」(『イエスを語る』筑摩書房、2004)

GA62, *Ergebnisse der Geistesforschung*

X, Berlin, 1913.2.6

高橋弘子訳「霊学の光のもとにみた童話」(『メルヘン論』水声社、1990)

GA63, *Geisteswissenschaft als Lebensgut*

VII, Berlin, 1914.1.15

高橋巖訳「悪について」(『悪について』春秋社、2012)

GA67, *Das Ewige in der Menschenseele Unsterblichkeit und Freiheit*

II, Berlin, 1918.2.21

西川隆範訳「ゲーテ——精神研究の父」

(『ゲーテ 精神世界の先駆者』アルテ、2009)

GA74, *Die Philosophie des Thomas von Aquino*

②, Dornach, 1920.5.23

西川隆範訳「スコラ哲学」(『〈S〉哲学講義』アルテ、2010)

GA79, *Die Wirklichkeit der höheren Welten*

I, Kristiania (Oslo), 1921.11.25

西川隆範訳「高次世界の現実」(『天国と地獄』風濤社、2011)

VIII, Kristiania (Oslo), 1921.11.30

西川隆範訳「社会を考える(2)」

(『あたまを育てるからだを育てる』風濤社、2002)

西川隆範訳「経済の根本問題」(『社会改革案』水声社、2011)

GA83, *Westliche und östliche Weltgegensätzlichkeit*

Wege zu ihrer Verständigung durch Anthroposophie

②, Wien, 1922.6.2

西川隆範訳「人智学と心理学」(『〈S〉心理学講義』平河出版社、1995)

GA93, *Die Tempellegende und die Goldene Legende*

als symbolischer Ausdruck

○高橋巖訳『神殿伝説と黄金伝説』国書刊行会、1997

GA93a, *Grundelemente der Esoterik*

⑤, Berlin, 1905.9.30

西川隆範訳「補遺²³」(『天国と地獄』風濤社、2011)

⑥, Berlin, 1905.10.1

高橋巖訳「ヒエラルキアについて(その1)」

(『〈S〉霊的宇宙論』春秋社、1998)

⑬, Berlin, 1905.10.8

高橋巖訳「……(その2)」(『〈S〉霊的宇宙論』春秋社、1998)

⑭, Berlin, 1905.10.9

²³ 部分訳。

西川隆範訳「第八領域」(『天国と地獄』風濤社、2011)

⑩, Berlin, 1905.10.11

西川隆範訳「補遺²⁴」(『天国と地獄』風濤社、2011)

⑩, Berlin, 1905.11.4

西川隆範訳「人間は何を食べてきたか」

(『人智学から見た家庭の医学』風濤社、2003)

GA95, Vor dem Tore der Theosophie

○西川隆範訳『神智学の門前にて』イザラ書房、1991

⑭, Stuttgart, 1906.9.4

西川隆範訳「補遺²⁵」(『天国と地獄』風濤社、2011)

GA96, Ursprungsimpulse der Geisteswissenschaft

Christliche Esoterik im Lichte neuer Geist-Erkenntnis.

Der Erkenntnispfad und seine Stufen, ①, Berlin, 1906.10.20

西川隆範訳「認識の道」(『霊視と霊聴』水声社、1993)

西川隆範訳「心の開発」(『こころの不思議』風濤社、2004)

“Ernährungsfragen und Heilmethoden,” Berlin, 1906.10.22, vormittags

西川隆範訳「医食を考える」(『人智学から見た家庭の医学』風濤社、2003)

Das Vaterunser, Eine esoterische Betrachtung, ①, Berlin, 1907.1.28,

興石祥三訳『主の祈り』涼風書林、2007

GA99, Die Theosophie des Rosenkreuzers

○西川隆範訳「薔薇十字会の神智学」

(『薔薇十字会の神智学』平河出版社、1985)

²⁴ 部分訳。

²⁵ 部分訳。

GA101, *Mythen und Sagen*

I, Berlin, 1907.10.21, abends, “Germanische Sagen”

西川隆範訳「ゲルマンの神々」(『〈S〉古代秘教講義』アルテ、2012)

II, Berlin, 1907.10.21, nachmittags, “Weiße und schwarze Magie”

西川隆範訳「白魔術と黒魔術」(『黙示録的な現代』風濤社、2012)

III, ①, Stuttgart, 1907.9.13

yucca 訳「神秘学の記号と象徴 1」(〈S〉研究室)

西川隆範訳「秘められた印と象徴」(『色と形と音の瞑想』風濤社、2001)

III, ②, Stuttgart, 1907.9.14

yucca 訳「神秘学の記号と象徴 2」(〈S〉研究室)

西川隆範訳「建築が人間におよぼす作用」(…②…)

III, ③, Stuttgart, 1907.9.15

yucca 訳「神秘学の記号と象徴 3」(〈S〉研究室)

西川隆範訳「数の神秘」(『色と形と音の瞑想』風濤社、2001)

III, ④, Stuttgart, 1907.9.16

yucca 訳「神秘学の記号と象徴 4」(〈S〉研究室)

西川隆範訳「黙示録の象徴」(『黙示録的な現代』風濤社、2012)

III, ⑤, Köln, 1907.12.26

yucca 訳「神秘学の記号と象徴 5」(〈S〉研究室)

III, ⑥, Köln, 1907.12.27

yucca 訳「神秘学の記号と象徴 6」(〈S〉研究室)

III, ⑧, Köln, 1907.12.29

西川隆範訳「象徴と精神世界」(『色と形と音の瞑想』風濤社、2001)

GA102, *Das Hereinwirken geistiger Wesenheiten in den Menschen*

⑧, Berlin, 1908.4.20

松浦賢訳「天使とは何か」(『天使と人間』イザラ書房、1995)

⑨, Berlin, 1908.5.13

西川隆範訳「キリスト精神は宗教を超える」

(『聖杯の探究』イザラ書房、2006)

GA103, *Das Johannes-Evangelium*

○高橋巖訳『ヨハネ福音書講義』春秋社

GA104, *Die Apokalypse des Johannes*

○西川隆範訳『黙示録の秘密』水声社

Öffentlicher Vortrag, Nürnberg, 1908.6.17

西川隆範訳「黙示録へのプロローグ」(『黙示録的な現代』風濤社、2012)

GA105, *Welt, Erde und Mensch*

①, Stuttgart, 1908.8.4

西川隆範訳「エジプト文明と現代」(『〈S〉古代秘教講義』アルテ、2012)

②, Stuttgart, 1908.8.5

西川隆範訳「古代エジプトにおける治療」(……)

GA106, *Ägyptische Mythen und Mysterien*

②, Leipzig, 1908.9.3

西川隆範訳「インドーペルシアーエジプトーギリシャの神々」(……)

GA107, *Geisteswissenschaftliche Menschenkunde*

①, Berlin, 1908.10.19

西川隆範訳「心の世界の特徴」(『こころの不思議』風濤社、2004)

西川隆範訳「補遺²⁶」(『天国と地獄』風濤社、2011)

④, Berlin, 1908.10.26

西川隆範訳「アストラル界の法則と神界の法則」(……)

⑤, Berlin, 1908.10.27

西川隆範訳「苦痛と喜び」(『こころの不思議』風濤社、2004)

⑦, Berlin, 1908.11.2

西川隆範訳「忘れる」(『こころの不思議』風濤社、2004)

⑧, Berlin, 1908.11.10

西川隆範訳「病気の本質」(『病気と治療』イザラ書房、1992)

⑪, Berlin, 1908.12.21

西川隆範訳「人体のリズム」(『人間の四つの気質』風濤社、2000)

⑫, Berlin, 1909.1.1

西川隆範訳「地震と悪魔」(『天地の未来』風濤社、2011)

⑬, Berlin, 1909.1.12

西川隆範訳「人間のリズム」(『<S>の美しい生活』風濤社、2005)

⑯, Berlin, 1909.3.22

松浦賢訳「キリストの行為と、キリストに敵対する霊的な力としての
ルシファー、アーリマン、アスラについて」
(『悪の秘儀』イザラ書房、1995)

⑰, Berlin, 1909.4.27

西川隆範訳「泣く・笑う」(『こころの不思議』風濤社、2004)

**GA108, Die Beantwortung von Welt- und Lebensfragen
durch Anthroposophie**

II, “Novalis und seine «Hymnen an die Nacht»”, Berlin, 1908.10.26

²⁶ 部分訳。

西川隆範訳「ノヴァーリス」(『〈S〉文学講義』アルテ、2011))

II, “Märchendeutungen,” Berlin, 1908.12.26

高橋弘子訳「童話の解釈」(『メルヘン論』水声社、1990)

III, “Praktische Ausbildung des Denkens,” Karlsruhe, 1909.1.18

西川隆範訳「実地的な思考法」(『人間の四つの気質』風濤社、2000)

**GA109, *Das Prinzip der spirituellen Ökonomie*
im Zusammenhang mit Wiederverkörperungsfragen**

I, “Komplizierte Fragen der Wiederverkörperung,” Heidelberg, 1909.1.21

西川隆範訳「靈的経済の原理」(『輪廻転生とカルマ』水声社、1988)

I, “Das Christentum im Entwicklungsgang unserer gegenwärtigen

Menschheit,” Berlin, 1909.2.15

西川隆範訳「人類の進化のなかのキリスト教」(……)

I, “Das makrokosmische und das mikrokosmische Feuer,” Köln, 1909.4.10

西川隆範訳「大宇宙の火と小宇宙の火」(……)

I, “Das Ereignis von Golgatha,” Köln, 1909.4.11, Ostersonntag

西川隆範訳「ゴルゴタの秘跡——聖杯の兄弟団」(……)

I, “Der Gott des Alpha und der Gott des Omega,” Berlin, 1909.5.23

西川隆範訳「アルファの神とオメガの神」(……)

I, “Von Buddha zu Christus,” Budapest, 1909.5.31

西川隆範訳「仏陀からキリストへ」(『輪廻転生とカルマ』水声社、1988)

II, ③, Budapest, 1909.6.5

西川隆範訳「精神科学から見た死後の生(1)」

(『精神科学から見た死後の生』風濤社、2000)

II, ④, Budapest, 1909.6.6

西川隆範訳「精神科学から見た死後の生(2)」(……)

II, ⑥, Budapest, 1909.6.8

西川隆範訳「土星」「太陽」「月」

(『〈S〉の宇宙進化論・講演「宇宙進化と人間」』、イザラ書房、1991)

II, ⑦, Budapest, 1909.6.9

西川隆範訳「月」

／ポラール時代・ヒュペルボレアス時代・レムリア時代」(……)

II, ⑧, Budapest, 1909.6.10

西川隆範訳「レムリア時代・アトランティス時代」／

アトランティス後の諸文化」(……)

**GA110, Geistige Hierarchien und ihre Widerspiegelung
in der physischen Welt**

○高橋巖訳『〈S〉霊的宇宙論』春秋社、1998

②, Dusseldorf, 1909.4.12, abends

西川隆範訳「人間が精霊を救済する」

(『天使たち妖精たち』風濤社、2000)

⑩, Dusseldorf, 1909.4.18, abends

佐々木義之訳「キリスト存在について」(〈S〉研究室)

GA113, Der Orient im Lichte des Okzidents

○西川隆範訳『西洋の光の中の東洋』創林社、1987

○西川隆範訳『西洋の光の中の東洋』水声社、1992

GA114, Das Lukas-Evangelium

○西川隆範訳『ルカ福音書講義』イザラ書房、1991

GA115, Anthroposophie - Psychosophie - Pneumatosophie

○高橋巖訳『人智学・心智学・霊智学』ちくま学芸文庫、2007

Zweiter Teil, “Die Elemente des Seelenlebens,” Berlin, 1910.11.1

西川隆範訳「愛と憎しみと判断」(『〈S〉心理学講義』平河出版社、1995)

Zweiter Teil, “Spiel und Gegenspiel der Kräfte

des menschlichen Seelenlebens,” Berlin, 1910.11.2

西川隆範訳「さまざまな心魂のいとなみ」(……)

Zweiter Teil, “An den Toren der Sinne; Gefühle;

ästhetisches Urteil,” Berlin, 1910.11.3

西川隆範訳「表象と欲望」(『〈S〉心理学講義』平河出版社、1995)

Zweiter Teil, “Bewußtsein und Seelenleben,” Berlin, 1910.11.4

西川隆範訳「意識と自我」(『〈S〉心理学講義』平河出版社、1995)

GA117, *Die tieferen Geheimnisse des Menschheitswerdens*

im Lichte der Evangelien

Die tieferen Geheimnisse des Menschheitswerdens im Lichte der

Evangelien, Berlin, ①, 1909.11.2

yucca 訳「四つの福音書のキリスト叙述における四つの異なった視点」

(〈S〉研究室)

……, Stuttgart, 1909.11.14, “Die Evangelien”

西川隆範訳「福音書」(『釈迦・観音・弥勒とは誰か』水声社、1991)

GA118, *Das Ereignis der Christus-Erscheinung in der ätherischen Welt*

“Das Ereignis der Christus-Erscheinung in der ätherischen Welt,”

Karlsruhe, 1910.1.25

西川隆範訳「エーテル界へのキリストの出現」

(『エーテル界へのキリストの出現』アルテ、2005)

“Das neue spirituelle Zeitalter und die Wiederkunft Christi,” Düsseldorf, 1910.2.20

西川隆範訳「精神的な新時代とキリストの再臨」(……)

“Buddhismus und das paulinische Christentum,” Köln, 1910.2.27

西川隆範訳「弥勒の世の到来」(『天地の未来』風濤社、2011)

“Vom Anbruch eines spirituellen Zeitalters. Kometen und ihre Bedeutung

für das Erdensein,” München, 1910.3.13

西川隆範訳「彗星」(『天地の未来』風濤社、2011)

“Die Wiederkunft Christim” Palermo, 1910.4.18

西川隆範訳「キリストの再来」(『輪廻転生とカルマ』水声社、1988)

西川隆範訳「キリストの再臨」

(『エーテル界へのキリストの出現』アルテ、2005)

“Das kommende Äthersehen,” Hannover, 1910.5.10

西川隆範訳「来るべきエーテル明視」(……)

“Pfingsten, das Fest der freien Individualität,” Hamburg, 1910.5.15

西川隆範訳「聖霊降臨祭——自由な個体の祭り」(……)

“Die Wiederkunft Christi im Ätherischen,” Kassel, 1910.2.6

西川隆範訳「エーテル界へのキリストの再臨」(……)

“Das Wesen des Menschen,” Rom, 1910.4.11

西川隆範訳「人間の本質」(……)

“Höhere Welten und ihr Zusammenhang mit der unsrigen,” Rom, 1910.4.12

西川隆範訳「高次世界と地上界との関係」(……)

“Der Christus-Impuls und seine großen Verkündiger,” Rom, 1910.4.13

西川隆範訳「キリスト衝動を告げる者たち」(……)

GA119, *Makrokosmos und Mikrokosmos*

○高橋巖訳『照応する宇宙』筑摩書房、2003

GA120, *Die Offenbarungen des Karma*

○西川隆範訳『カルマの開示』イザラ書房、1993

- 高橋巖訳『カルマの開示』春秋社、1996
- 西川隆範訳『いかにして前世を認識するか(カルマ論集成 1+2)』
イザラ書房、2008
- 藤本佳志訳『カルマの現われ』本の研究社、2017
- ③, 1910.5.18,
西川隆範訳「病気とカルマ」(『病気と治療』イザラ書房、1992)

GA121, Die Mission einzelner Volksseelen

- 西川隆範訳『民族魂の使命』イザラ書房、1992

GA122, Die Geheimnisse der biblischen Schöpfungsgeschichte

- 西川隆範訳『創世記の秘密』水声社、1991

GA123, Das Matthäus-Evangelium

- 高橋巖訳「マタイによる福音書講義」(『イエスを語る』筑摩書房、2004)

GA124, Exkurse in das Gebiet des Markus-Evangeliums

- ⑩, Berlin, 1911.6.10
高橋弘子訳「童話における薔薇十字会の叡智」
(『メルヘン論』水声社、1990)
- ⑧, Berlin, 1911.3.7
西川隆範訳「新しい仏教の流れ」
(『釈迦・観音・弥勒とは誰か』水声社、1991)

GA126, Okkulte Geschichte

- 西川隆範『世界史の秘密』創林社、1986
- 西川隆範『世界史の秘密』水声社、1992

○高橋巖訳「人智学から見た世界史 I」（『歴史を生きる』筑摩書房、2004）

①, Stuttgart, 1910.12.27

樋口純明訳「秘儀的歴史 1」（『人智学研究 1』）

②, Stuttgart, 1910.12.28

樋口純明訳「秘儀的歴史 2」（『人智学研究 2』）

⑥, Stuttgart, 1911.1.1

西川隆範訳「ギリシア哲学²⁷」（『〈S〉哲学講義』アルテ、2010）

GA128, *Eine okkulte Physiologie*

○高橋巖訳『オカルト生理学』ちくま学芸文庫、2004

○森章吾訳『秘されたる人体生理』イザラ書房、2013

GA129, *Weltenwunder, Seelenprüfungen und Geistesoffenbarungen*

○高橋巖訳「ギリシアの神話と秘儀」（『神々との出会い』筑摩書房、2003）

GA130, *Das esoterische Christentum*

und die geistige Führung der Menschheit

“Die Ätherisation des Blutes. Das Eingreifen des ätherischen Christus

in die Erdenentwicklung,” Basel, 1911.10.1

西川隆範訳「電気・磁気・原子力」（『黙示録的な現代』風濤社、2012）

“Glaube, Liebe, Hoffnung -drei Stufen des menschheitlichen Lebens,”

Nürnberg, ①, 1911.12.2

西川隆範訳「信仰・愛・希望 (1)」（『黙示録的な現代』風濤社、2012）

“Glaube, Liebe, Hoffnung -drei Stufen des menschheitlichen Lebens,”

Nürnberg, ②, 1911.12.3

²⁷ 部分訳。

西川隆範訳「信仰・愛・希望(2)」(『黙示録的な現代』風濤社、2012)

“Grundstimmung dem menschlichen Karma gegenüber,” Wien, 1912.2.8

西川隆範訳「運命にどう向き合うか」(『人間の四つの気質』風濤社、2000)

GA131, *Von Jesus zu Christus*

○西川隆範訳『イエスからキリストへ』アルテ、2003

GA132, *Die Evolution vom Gesichtspunkte des Wahrhaftigen*

○西川隆範訳「霊的観点から見た宇宙の進化」

(『薔薇十字会の神智学』平河出版社、1985)

○佐々木義之訳『真相から見た宇宙の進化』(S) 研究室

GA134, *Die Welt der Sinne und die Welt des Geistes*

○高橋巖訳「感覚の世界から霊の世界へ」(『内面への旅』筑摩書房、2003)

GA135, *Wiederverkörperung und Karma und ihre Bedeutung*

für die Kultur der Gegenwart

○西川隆範訳『いかにして前世を認識するか(カルマ論集成1)』

イザラ書房、1993

○西川隆範訳『……(カルマ論集成1+2)』イザラ書房、2008

GA136, *Die geistigen Wesenheiten*

in den Himmelskörpern und Naturreichen

①, Helsingfors (Helsinki), 1912.4.3

西川隆範訳「土の精と水の精」(『天使たち妖精たち』風濤社、2000)

②, Helsingfors (Helsinki), 1912.4.4

西川隆範訳「空気の精・火の精・地球の神霊存在たち」(……)

④, Helsingfors (Helsinki), 1912.4.6

西川隆範訳「下級三隊と中級三隊の天使たち」(……)

⑤, Helsingfors (Helsinki), 1912.4.7

西川隆範訳「上級三隊の天使たち」(……)

GA139, *Das Markus-Evangelium*

○市村温治『マルコ伝』人智学出版社、1981

○西川隆範訳『マルコ福音書講義』アルテ、2007

○市村温治『マルコ伝』みくに出版、2020

①, Basel, 1912.9.15

市村温治訳「マルコ伝 I」(『〈RS〉研究 3』)

②, Basel 1912.9.16

市村温治訳「マルコ伝 II」(『〈RS〉研究 4』)

GA140, *Okkulte Untersuchungen über das Leben*

zwischen Tod und neuer Geburt

“Einiges über die Technik des Karma im Leben nach dem Tode,” Bern, 1912.12.15

西川隆範訳「死後の宇宙体験」

(『精神科学から見た死後の生』風濤社、2000)

“Die lebendige Wechselwirkung zwischen Lebenden und Toten,”

Bergen, 1913.10.10

西川隆範訳「死者との交流(1)」(……)

GA142, *Die Bhagavad Gita und die Paulusbriefe*

○高橋巖訳『〈S〉根源的靈性論』春秋社、2017

○yucca 訳『バガヴァッド・ギーターとパウロ書簡』〈S〉研究室

①, Köln, 1912.12.28

西川隆範訳「インド哲学」(『〈S〉哲学講義』アルテ、2010)

GA143, *Erfahrungen des Übersinnlichen*

“Nervosität und Ichheit,” München, 1912.1.11

西川隆範訳「心を元氣にする七つの方法」

(『人間の四つの気質』風濤社、2000)

“Spiegelungen des Bewußtseins,” München, 1912.2.25

冥王まさ子訳「意識の反射」(『魂の隠れた深み』河出書房新社、1995)

“Verborgene Kräfte des Seelenlebens,” München, 1912.2.27

冥王まさ子訳「魂の隠れた深み」(……)

Die drei Wege der Seele zu Christus, Erster Vonrag, “Der Weg

durch die Evangelien und der Weg der inneren Erfahrung,” Stockholm, 1912.4.16

西川隆範訳「キリストへの三つの道」

(『エーテル界へのキリストの出現』アルテ、2005)

“Vorverkündigung und Heroldtum des Christus-Impulses,” Köln, 1912.5.8

人智学研究会訳「古代の英知とキリスト衝動の先触れ」(『現代神秘学 2』)

“Die Liebe und ihre Bedeutung in der Welt,” Zürich, 1912.12.17

人智学研究会訳「愛・その世界における意味」(『現代神秘学 3』)

“Novalis als Verkünder des spirituell zu erfassenden Christus-Impulses,”

Köln, 1912.12.29

yucca 訳「キリストの告知者としてのノヴァーリス」〈S〉研究室

GA144, *Die Mysterien des Morgenlandes und des Christentums*

○西川隆範訳「東方の秘儀とキリスト教の秘儀」

(『秘儀参入の道』平河出版社、1986)

①, Berlin, 1913.2.3

西川隆範訳「秘儀の四段階²⁸」(『〈S〉古代秘教講義』アルテ、2012)

②, Berlin, 1913.2.4

西川隆範訳「秘儀の四段階²⁹」(『〈S〉古代秘教講義』アルテ、2012)

③, Berlin, 1913.2.5

西川隆範訳「秘儀の四段階³⁰」(『〈S〉古代秘教講義』アルテ、2012)

GA145, *Welche Bedeutung hat die okkulte Entwicklung des Menschen für seine Hüllen - physischer Leib, Äther*

○高橋巖訳「オカルト上の進歩の意味」

(『シュタイナーの瞑想・修行論』春秋社、2019)

①, Den Haag, 1913.3.20

西川隆範訳「修行と食事(1)」(『健康と食事』イザラ書房、1992)

②, Den Haag, 1913.3.21

西川隆範訳「修行と食事(2)」(『健康と食事』イザラ書房、1992)

GA146, *Die okkulten Grundlagen der Bhagavad Gita*

○高橋巖訳『バガヴァッド・ギーターの眼に見えぬ基盤』春秋社、2017

①, Helsingfors, 1913.5.28

西川隆範訳「クリシュナ意識とアルジュナ意識」

(『〈S〉古代秘教講義』アルテ、2012)

②, Helsingfors, 1913.5.29

西川隆範訳「瑜伽の階梯」(『〈S〉古代秘教講義』アルテ、2012)

²⁸ 抄訳。

²⁹ 抄訳。

³⁰ 抄訳。

GA147, *Die Geheimnisse der Schwelle*

②, München, 1913.8.25

高橋巖訳「ルツィフェルとアーリマン1」(『悪について』春秋社、2012)

GA148, *Aus der Akasha-Forschung. Das Fünfte Evangelium*

Aus der Akasha-Forschung, Kristiania (Oslo), ①, 1913.10.1

斎藤透訳「第五福音書1」(『人智学研究2』)

西川隆範訳「第五福音書1」(『第五福音書』イザラ書房、1986)

高橋巖訳「アカシャ研究による第五福音書第1講」

(『アカシャ研究による第五福音書』春秋社、2021)

Aus der Akasha-Forschung, Kristiania (Oslo), ②, 1913.10.2

西川隆範訳「第五福音書2」(『第五福音書』イザラ書房、1986)

高橋巖訳「②第2講」(……)

Aus der Akasha-Forschung, Kristiania (Oslo), ③, 1913.10.3

西川隆範訳「第五福音書3」(『第五福音書』イザラ書房、1986)

高橋巖訳「②第3講」(……)

Aus der Akasha-Forschung, Kristiania (Oslo), ④, 1913.10.5

西川隆範訳「第五福音書4」(『第五福音書』イザラ書房、1986)

高橋巖訳「②第4講」(……)

Aus der Akasha-Forschung, Kristiania (Oslo), ⑤, 1913.10.6

西川隆範訳「第五福音書5」(『第五福音書』イザラ書房、1986)

高橋巖訳「②第5講」(……)

GA149, *Christus und die geistige Welt*

○西川隆範訳『聖杯の探究』イザラ書房、2006

GA150, *Die Welt des Geistes und ihr Hereinragen*

in das physische Dasein

“Zwei Strömungen innerhalb der fortlaufenden Entwicklung

des Menschen sind bei der Erziehung zu berücksichtigen,” Augsburg, 1913.3.14

西川隆範訳「子どもの自我」(『〈S〉教育の基本要素』イザラ書房、1994)

“Sinneserleben und Erleben der Welt der Verstorbenen,” Weimar,

1913.4.13, vormittags

高橋巖訳「感覚の変容」(『死について』春秋社、2011)

GA151, *Der menschliche und der kosmische Gedanke*

②, Berlin, 1914.1.21

西川隆範訳「十二の世界観」(『〈S〉哲学講義』アルテ、2010)

③, Berlin, 1914.1.22

西川隆範訳「七つの世界観の気分」(『〈S〉哲学講義』アルテ、2010)

西川隆範訳「黄道十二宮と七惑星の世界観」(『星と人間』風濤社、2001)

GA152, *Vorstufen zum Mysterium von Golgatha*

“Christus zur Zeit des Mysteriums von Golgatha und Christus

im zwanzigsten Jahrhundert,” London, 1913.5.2

西川隆範訳「ゴルゴタの秘儀と二十世紀のキリスト」

(『エーテル界へのキリストの出現』アルテ、2005)

“Die drei geistigen Vorstufen des Mysteriums von Golgatha,” Stuttgart, 1914.3.5

西川隆範訳「ゴルゴタの秘跡の三つの前段階」

(『輪廻転生とカルマ』水声社、1988)

GA153, *Inneres Wesen des Menschen und Leben*

zwischen Tod und neuer Geburt

○高橋巖訳『死後の生活』イザラ書房、1989

○高橋巖訳『(S)の死者の書』ちくま学芸文庫、2006

GA155, *Christus und die menschliche Seele*

Theosophische Moral, ③, Norrköping, 1912.5.30

西川隆範訳「神智学のモラル」(『黙示録的な現代』風濤社、2012)

Christus und die menschliche Seele, ①, Norrköping, 1914.7.12

高橋巖訳「キリストと人間の心魂 第一講」

(『アカシャ研究による第五福音書』春秋社、2021)

Christus und die menschliche Seele, ②, Norrköping, 1914.7.14

高橋巖訳「キリストと人間の心魂 第二講」(……)

Christus und die menschliche Seele, ③, Norrköping, 1914.7.15

高橋巖訳「キリストと人間の心魂 第三講」(……)

Christus und die menschliche Seele, ④, Norrköping, 1914.7.16

高橋巖訳「キリストと人間の心魂 第四講」(……)

GA156, *Okkultes Lesen und okkultes Hören*

Okkultes Lesen und okkultes Hören, ①, Dornach, 1914.10.3

西川隆範訳「瞑想の本質」(『靈視と靈聴』水声社、1993)

高橋巖訳「オカルト的な読み方と聴き方 第一講」

(『内面への旅』筑摩書房、2003)

Okkultes Lesen und okkultes Hören, ②, Dornach, 1914.10.4

西川隆範訳「靈的現実と一体になる」(『靈視と靈聴』水声社、1993)

高橋巖訳「…… 第二講」(『内面への旅』筑摩書房、2003)

Okkultes Lesen und okkultes Hören, ③, Dornach, 1914.10.5

西川隆範訳「死の扉の前に立つ」(『靈視と靈聴』水声社、1993)

高橋巖訳「…… 第三講」(『内面への旅』筑摩書房、2003)

Okkultes Lesen und okkultes Hören, ④, Dornach, 1914.10.6

西川隆範訳「べつの時空に移る」(『霊視と霊聴』水声社、1993)

高橋巖訳「…… 第四講」(『内面への旅』筑摩書房、2003)

GA157, *Menschenschicksale und Völkerschicksale*

⑪, Berlin, 1915.4.20, “Der ätherische Mensch im physischen Menschen”

高橋巖訳「エーテル体をどう感じとるか」(『死について』春秋社、2011)

GA159, *Das Geheimnis des Todes*

“Geisteswissenschaft als Gesinnung,” Elberfeld, 1915.6.13

高橋巖訳「苦悩する時代に」(『死について』春秋社、2011)

“Erfahrungen des Menschen nach dem Durchgang durch die Todespforte,”

Düsseldorf, 1915.6.17

高橋巖訳「死の門を通過していった人の経験」(『死について』春秋社、2011)

“Die erkenntnisgemäße Überwindung des Todes,” Köln, 1915.6.19

高橋巖訳「死者からの呼びかけ」(『死について』春秋社、2011)

GA161, *Wege der geistigen Erkenntnis*

und der Erneuerung künstlerischer Weltanschauung

④, Dornach, 1915.2.2

西川隆範訳「受胎・誕生・成長」

(『〈S〉教育の基本要素』イザラ書房、1994)

GA164, *Der Wert des Denkens*

für eine den Menschen befriedigende Erkenntnis

Der Wert des Denkens, für eine den Menschen befriedigende Erkenntnis,

①, Dornach, 1915.9.17

- 高橋巖訳「思考の変容 第一講」(『死について』春秋社、2011)
……, ②, Dornach, 1915.9.18
- 高橋巖訳「思考の変容 第二講」(『死について』春秋社、2011)
……, ③, Dornach, 1915.9.19
- 高橋巖訳「思考の変容 第三講」(『死について』春秋社、2011)
……, ④, Dornach, 1915.9.20
- 高橋巖訳「思考の変容 第四講」(『死について』春秋社、2011)

**GA165, Die geistige Vereinigung der Menschheit
durch den Christus-Impuls**

I, ①, Berlin, 1915.12.19

鈴木一博訳『聖き夜との考えとわたしなる秘密』

日本アントロポゾフィー協会／〈RS〉ハウス事務局、1992

GA168, Die Verbindung zwischen Lebenden und Toten

“Karmische Wirkungen,” Zürich, 1916.10.24

高橋巖訳「大切な人の死³¹」(『死について』春秋社、2011)

高橋巖訳「不慮の死³²」(『死について』春秋社、2011)

高橋巖訳「死と出会うための学問²³³」(『死について』春秋社、2011)

GA171, Innere Entwicklungsimpulse der Menschheit

⑨, Dornach, 1916.10.2

高橋巖訳「エーテル体とは³⁴」(『死について』春秋社、2011)

³¹ 部分訳。

³² 部分訳。

³³ 部分訳。

³⁴ 部分訳。

GA172, *Das Karma des Berufes des Menschen*

- ①, Dornach, 1916.11.4
西川隆範訳「ゲーテの仕事」(『職業のカルマと未来』風濤社、2008)
- ②, Dornach, 1916.11.5
西川隆範訳「ゲーテのカルマ」(……)
- ③, Dornach, 1916.11.6
西川隆範訳「過去からの業績と未来への仕事」(……)
- ④, Dornach, 1916.11.12
西川隆範訳「労働と精神生活」(……)
- ⑤, Dornach, 1916.11.13
西川隆範訳「職業のカルマのあり方」(……)
- ⑥, Dornach, 1916.11.18
西川隆範訳「前世の職業」(……)

GA174b, *Die geistigen Hintergründe des Ersten Weltkrieges*

- ①, Stuttgart, 1914.9.30
西川隆範訳「付録 第一次世界大戦」(『天地の未来』風濤社、2011)
- ②, Stuttgart, 1915.2.13
西川隆範訳「未来の戦争」(『天地の未来』風濤社、2011)
- ④, Stuttgart, 1915.11.22
西川隆範訳「戦死の意味」(『天地の未来』風濤社、2011)
- ⑤, Stuttgart, 1915.11.23
西川隆範訳「夭折者の働き」(『天地の未来』風濤社、2011)

GA175, *Bausteine zu einer Erkenntnis des Mysteriums von Golgatha*

- ③, Berlin, 1917.2.20
松浦賢訳「人間の魂と宇宙存在の三つの出会い」

(『天使と人間』イザラ書房、1995)

西川隆範訳「補遺 4 人間と宇宙存在との出会い³⁵⁾

(『天使たち妖精たち』風濤社、2000)

GA177, *Die spirituellen Hintergründe der äußeren Welt*

③, Dornach, 1917.10.1

高橋巖訳「われわれの生きる悪の時代の靈的背景」

(『悪について』春秋社、2012)

④, Dornach, 1917.10.6

高橋巖訳「われわれの生きる悪の時代の靈的背景」(……)

⑤, Dornach, 1917.10.7

高橋巖訳「われわれの生きる悪の時代の靈的背景」(……)

⑨, Dornach, 1917.10.14

高橋巖訳「ミカエルと龍の闘い」(『悪について』春秋社、2012)

⑩, Dornach, 1917.10.20

高橋巖訳「ミカエルと龍の闘い」(『悪について』春秋社、2012)

⑫, Dornach, 1917.10.26

高橋巖訳「ミカエルと龍の闘い」(『悪について』春秋社、2012)

⑭, Dornach, 1917.10.28

高橋巖訳「民主主義と悪」(『悪について』春秋社、2012)

GA178, *Individuelle Geistwesen und ihr Wirken*

in der Seele des Menschen

Zwei Vorträge über Psychoanalyse, ①, Dornach, 1917.11.10

冥王まさ子訳「フロイトとユング 1」

³⁵⁾ 部分訳。

(『魂の隠れた深み』河出書房新社、1995)

Zwei Vorträge über Psychoanalyse, ②, Dornach, 1917.11.11

冥王まさ子訳「フロイトとユング 2」(……)

Die Erkenntnis des Übersinnlichen und die menschlichen Seelenrätsel,

Öffentlicher Vortrag, St. Gallen, 1917.11.15

高橋巖訳「死と出会うための学問 1³⁶」(『死について』春秋社、2011)

GA180, *Mysterienwahrheiten und Weihnachtsimpulse*

⑩, Dornach, 1918.1.8

西川隆範訳「星と人類の進歩」(『星と人間』風濤社、2001)

参考文献

寺石悦章 2021「ルドルフ・シュタイナー全集 邦訳の現状」

(『人間科学』第41号所収、pp.61-91)

³⁶ 部分訳。